資料４－５

高知県の気候変動適応への取組

令和３年３月５日

高知県

新エネルギー推進課・気候変動適応センター

（衛生環境研究所）

高知県気候変動適応計画の位置づけについて

高知県新エネルギー推進課

平成29年３月

- 高知県地球温暖化対策実行計画を改定（計画期間：2017年度～2030年度）し、本計画の第8章に「気候変動の影響への適応」を盛り込む

気候変動適応法の施行

平成31年４月

- 高知県地球温暖化対策実行計画の第8章を地域気候変動適応計画として位置づけ
- 高知県衛生環境研究所を本県の地域気候変動適応センターとして位置づけ

令和元年７月

- 令和元年度高知県地球温暖化対策実行計画推進協議会で適応策の取組状況について報告

令和２年度

高知県環境基本計画の見直しに併せて、高知県地球温暖化対策実行計画の見直しを行う（計画期間：2017年度～2030年度）

高知県気候変動適応計画の見直しについて

高知県新エネルギー推進課

実行計画第8章適応策（抜粋）

高知県における影響と適応策

項目	既に現れている又は予測される温暖化の影響	その影響に対する施策
水稲	・高温障害による白未熟粒や胴割粒の発生等による一等米比率の低下	・高温耐性品種の育成・導入に向けた現地適応性の検討、栽培技術の確立
果樹	・落葉果樹における冬季の休眠不足と思われる開花や花芽異常、夏季の高温による果肉障害等の発生 ・成熟後の高温多雨による温州みかんの浮皮の発生	・高品質、安定生産可能な有望品種の選定、育種及び普及 ・果肉障害、開花・発芽異常を軽減する環境制御の開発 ・シートマルチ、植物成長調整剤等の浮皮症対策技術の普及
病害虫（畜産）	・病原体を媒介する節足動物の生息域の拡大や生息時期の延長等による病原体の侵入リスクの増加 ・熱帯・亜熱帯地域の拡大による海外からの新規感染症の侵入リスクの増加	・防虫ネットの設置、殺虫剤等の散布、畜舎環境の整備等による媒介動物対策の指導
病害虫（施設園芸）	・東南アジアからの侵入害虫(チャノキイロアザミウマ)によるピーマン類などの施設園芸での深刻な被害の発生 ・温暖な地域からのさらなる害虫の侵入	・侵入害虫の早期発見及び防除技術の確立と普及促進
野生動植物	・外来種(セアカゴケグモ等) の繁殖による生態系への影響 ・シカの増加による希少野生植物の食害域の拡大 ・シカの生息域の拡大	・外来種の防除対策の推進 ・シカの生息状況モニタリングや個体数管理の推進 ・食害を防ぐための防護ネットの設置及びモニタリングの実施
水害	・短時間強雨の増加に起因する雨水排水施設の能力超過等による浸水 ・河川の氾濫・土砂災害リスクの上昇	・防災情報を県民に提供し、的確な避難体制を支援 ・浸水被害の軽減を図るため、河川改修やダム等の整備、管理、更新の実施 ・放水路の整備、雨水流出抑制施設の活用、洪水ハザードマップの充実 ・市街化調整区域のうち溢水や湛水等の危険のある土地の区域における開発抑制
高潮・高波	・強い台風の増加等による高潮偏差の増大 ・波浪の強大化による既設構造物(港湾・漁港・海岸施設) への被害 ・海面上昇による浸水被害の拡大	・国が実施する気象・海象のモニタリング結果等を踏まえ、必要に応じ設計外力等の見直しを実施
暑熱	・熱中症に罹患するリスクの上昇と救急搬送者数の増加	・「熱中症予防情報サイト」等を通じた予防対策の周知や注意喚起

高知県における温暖化の影響及びその影響に対する施策については、大きな変更はなし。

計画に追記した事項

平成30年度	気候変動適応法の施行
平成31年度	高知県気候変動適応センターの設置
令和２年度	気候変動影響評価報告書の公表

高知県気候変動適応センターについて

LCCAC-Kochi

平成31年４月から高知県衛生環境研究所として組織を統合

適応センターの位置づけ

組織的整理	・気候変動適応法第13条に規定する機関 ・地方自治法上の位置づけは、出先機関ではなく内部組織(第158条)とし、行政組織規則においてその機能を担う所属を明示 ・センター長などポストは置かず、機能を担う所属の長を業務上の責任者とする
行政組織規則上の規定	・新エネルギー推進課：気候変動適応法に関すること ・衛生環境研究所：高知県気候変動適応センターに関すること
地域センター設置要綱等	・設置要綱は策定せず
外部へのＰＲ	・衛生環境研究所ホームページ内に適応センターの情報を掲載

適応センターのスタッフ

- 所長 ― 次長･技術次長
  - 企画担当 ― **主務 2名（兼務）**
  - 保健科学課
  - 食品科学課
  - 環境科学課 ― **技術面のサポート 保全担当3名（兼務）**

高知県気候変動適応センターの取り組み状況

LCCAC-Kochi

令和２年度

情報発信	**■気候変動問題や適応策への理解・関心の向上** ・新図書館等複合施設「オーテピア」での企画展の開催　⇒　新型コロナウイルス感染症対策に注力するため中止 ・ホームページによる情報発信 ＜「新しい生活様式」における熱中症予防＞ ＜気象情報・防災情報の活用＞ ＜気候変動影響評価報告書＞
情報収集	**■気候変動影響の実態把握(ステークホルダー調査)** ・沿岸域における気候変動影響（主にサンゴ等沿岸生態系の変化、水産業への影響)に関するヒアリング調査（公財 黒潮生物研究所）

令和３年度（予定）

情報発信	**■気候変動問題や適応策への理解・関心の向上** ・新図書館等複合施設「オーテピア」での企画展の開催　⇒　8-9月開催予定 ・啓発リーフレットの作成 ・ホームページによる情報発信
情報収集	**■気候変動影響の実態把握(ステークホルダー調査)** ・農林水産、食品製造、労働衛生、防災等の分野を調査予定
情報分析・影響予測	**■適応型共同研究(暑熱・健康等への影響に関する研究)** ・県内15消防本部の熱中症搬送者データや気象庁の暑さ指数(WBGT)データを活用し、国立環境研究所の支援をいただきながら、地域ごとの健康影響を分析し、対策（適応策）に活かす予定